

2013年3月15日

各 位

東京都千代田区大手町二丁目6番3号

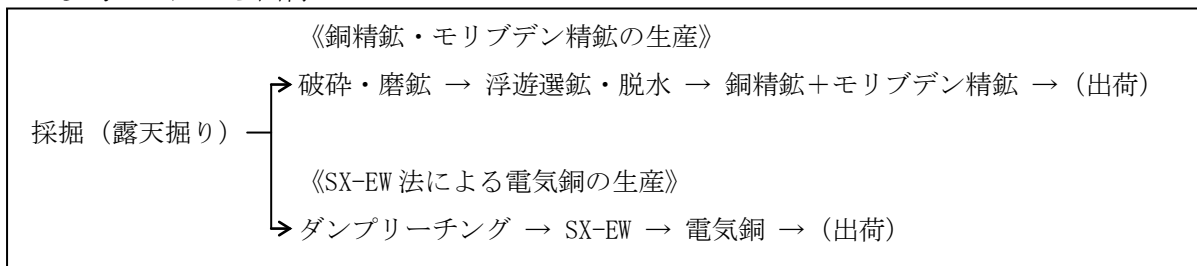


チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」における  
最初の電気銅採取について

パンパシフィック・銅株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）は、かねて推進しているチリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）において、3月14日（チリ時間）に溶媒抽出－電解採取法（以下「SX-EW法」）による最初の電気銅を採取しました。

本プロジェクトは、SX-EW法による電気銅、および浮遊選鉱等の工程を経ての銅精鉱の2種類の生産形態を採用しております。SX-EW法による電気銅の生産開始に続き、2013年第4四半期（10 - 12月期）中に銅精鉱の生産を開始する予定です。

ご参考：生産から出荷までのプロセス



以 上

お問い合わせ先：パンパシフィック・銅株式会社 総務部 伊與田・東森  
TEL：03-5299-7403

(ご参考)



写真中央（演壇上）が MLCC（本プロジェクト運営会社）ピサロ社長、右から5人目が同 村上会長  
向かって右に光るのが採取された電気銅



SX-EW プラントの全景（手前のプールは浸出液を溜めたもの）